

令和4年度 広報さいじょうアンケート結果

1. 調査概要

調査目的：広報紙について読者の意見を収集し、今後の編集方針の参考とするため

実施期間：令和4年9月20日～11月11日

(H30年から実施。広報紙面などに掲載。デスクネットでも実施)

回答者数：2,012人（はがき・チラシ164人、ロゴフォーム1,130人、デスクネット718人）

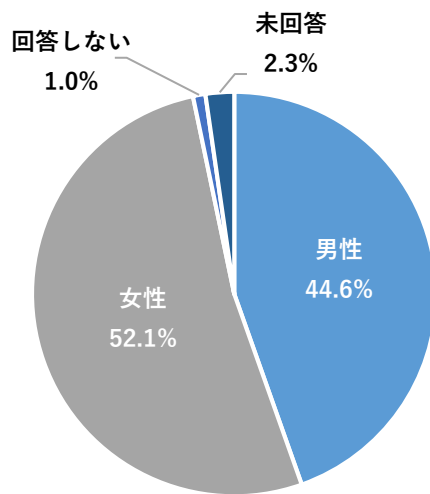
※昨年回答者数：1,509人（はがき136人、ホームページ640人、デスクネット730人）

発行部数：49,700部

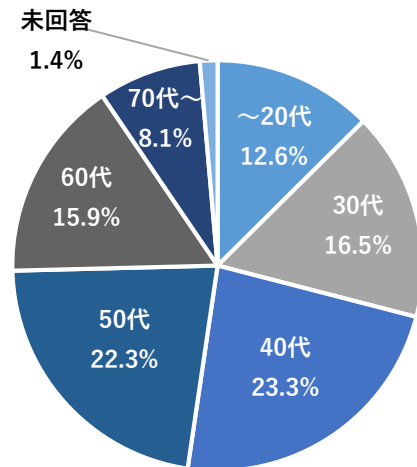
回答率：約4.0%（前回：約3.0%）

2. 回答者属性

性別

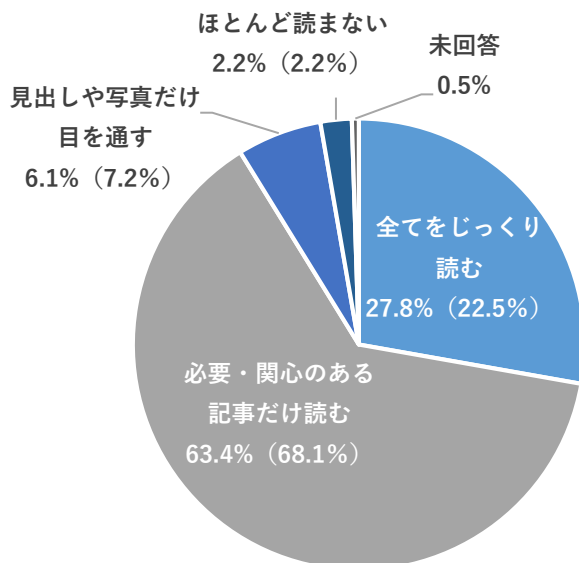


年齢



3. アンケート結果（全体）

どのように読んでいるか

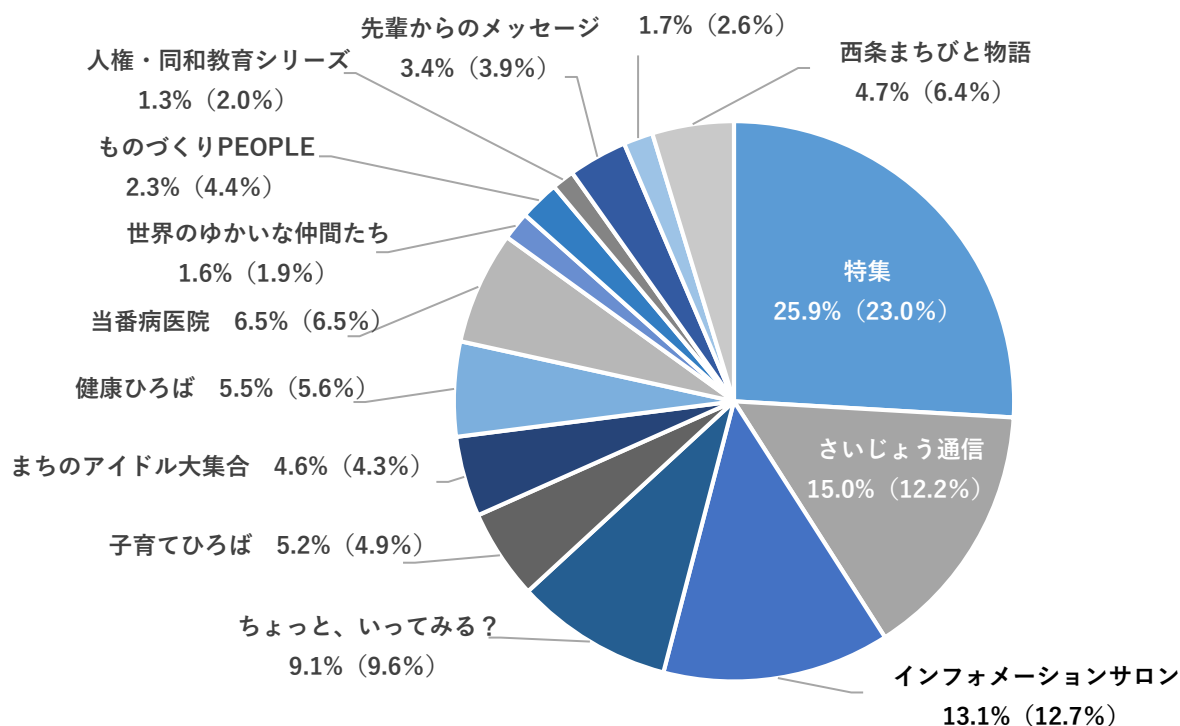


※（ ）内はR3（前回）

LINE・フェイスブックでの投稿、LOVE SAIJO ファンクラブ会員へのメルマガ配信、イベントでのチラシ配布など周知活動に力を入れた結果、回答者数が500人ほど増加した。昨年より「全てをじっくり読む」方の割合が5%も増加。これまで微増が続いていたが、いい傾向である。このまま上記の方の割合を増やしていきたいところ。

よく読む記事はどれか（3つまで選択）

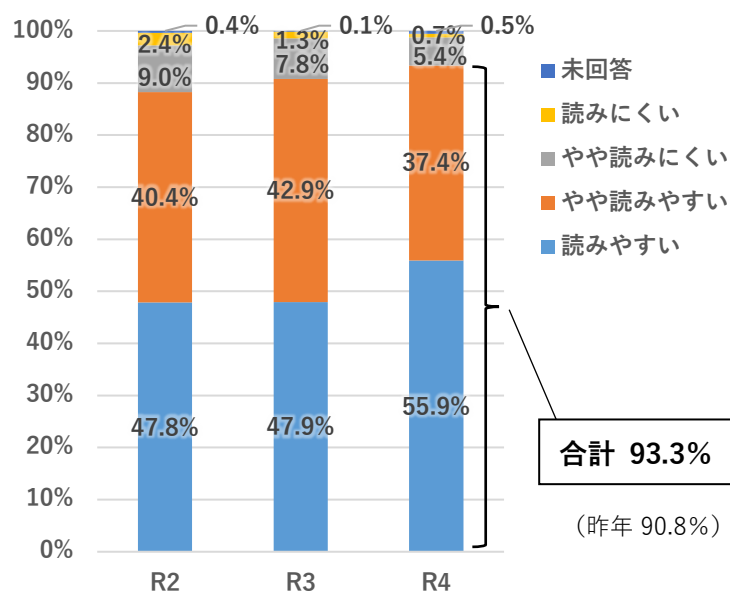
西条バードウォッチング



※（ ）内は R3（前回）

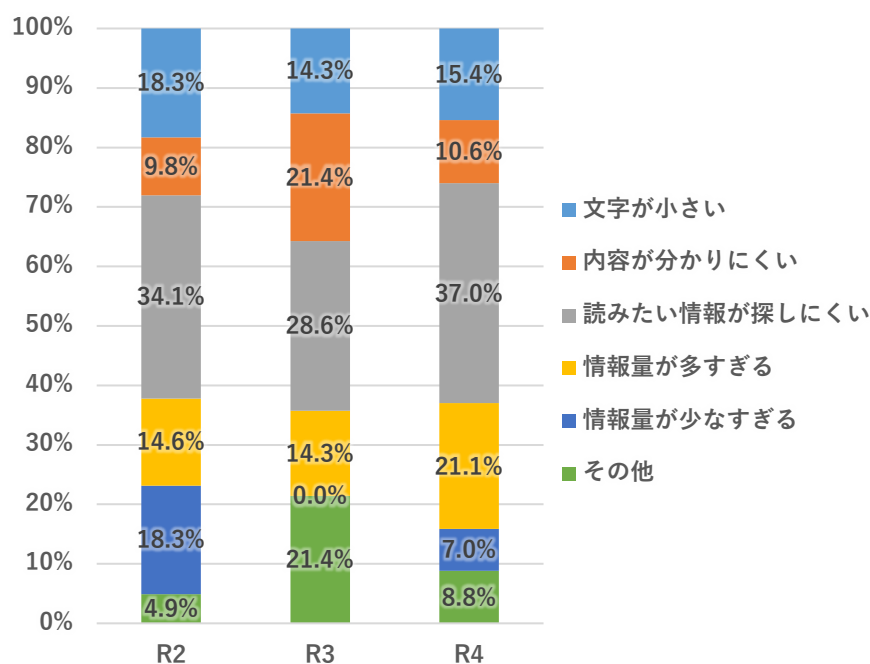
「特集」をよく読む人が約 3 % 増加。4 人に 1 人以上が読んでおり、大きな関心を持たれていることが分かる。特集に引っ張られてか、「さいじょう通信」、「インフォメーションサロン」など前半の記事に目を通す人が増加し、逆に後半の記事を読んでいる人の割合は昨年と比べて減少した。

広報さいじょうは読みやすいか



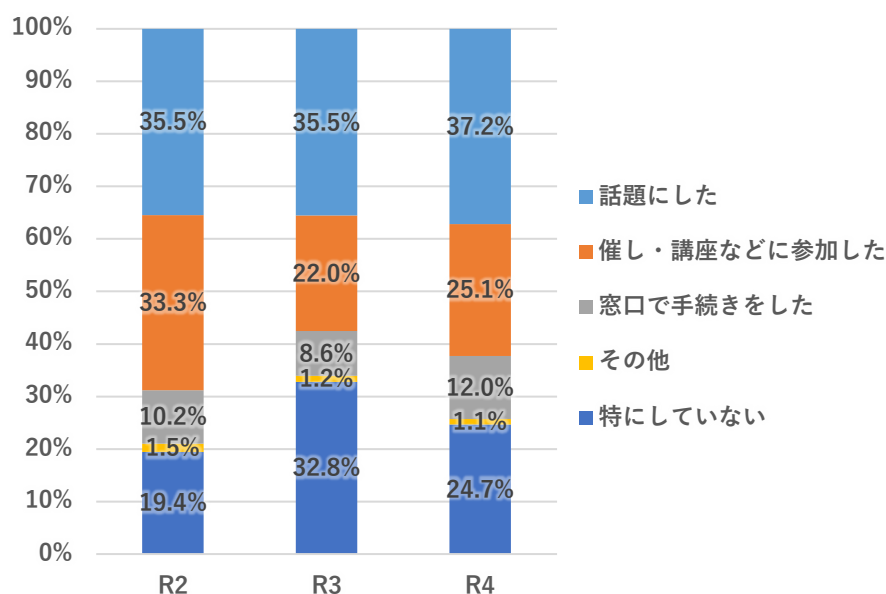
「読みやすい」「やや読みやすい」の割合が昨年よりさらに増加。ほとんどの方が読みやすいと感じているようだ。ただ年配の方からは、字が小さくて読みづらいなどの意見も見られたため、見せ方の工夫は続けていく必要がある。

読みにくい、やや読みにくいと答えた理由（複数回答可）



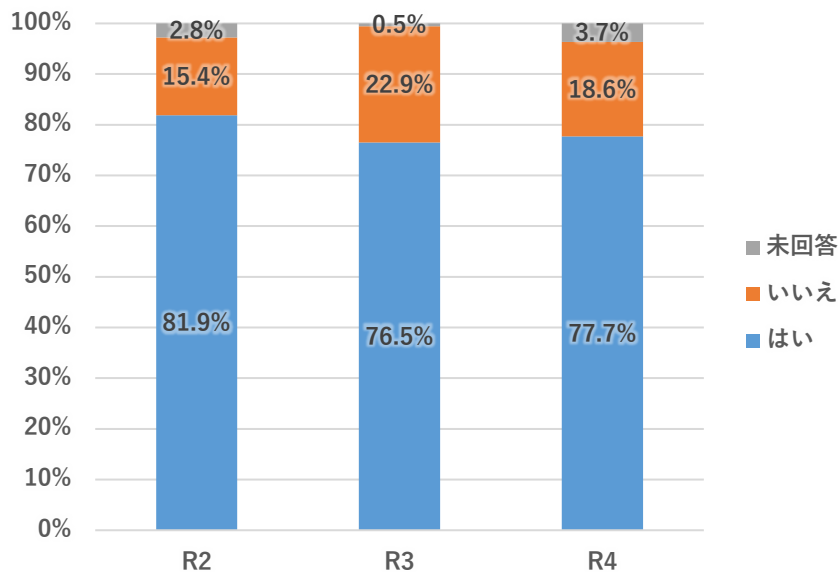
「内容が分かりにくい」が大幅に減少したが、「読みたい情報が探しにくい」が増加。インデックスなど工夫は続けているが、より情報を探しやすいデザインが求められる。

広報紙を読んで行動を起こしたか（複数回答可）



「特にしていない」という回答が昨年より大幅に減少。「催し・講座などに参加した」、「窓口で手続きをした」割合が増えていることから、LOVE SAIJO ポイントやマイナンバーの記事など、市民から関心の高い施策をうまく伝えられたと捉えたい。

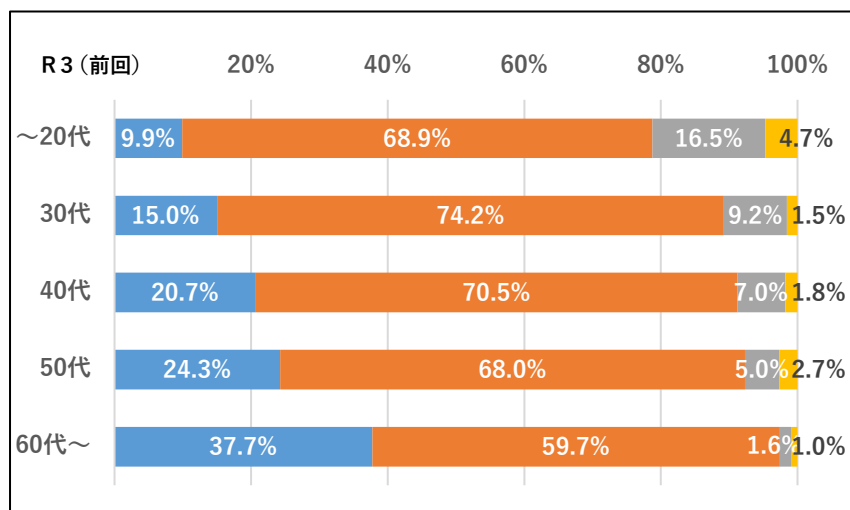
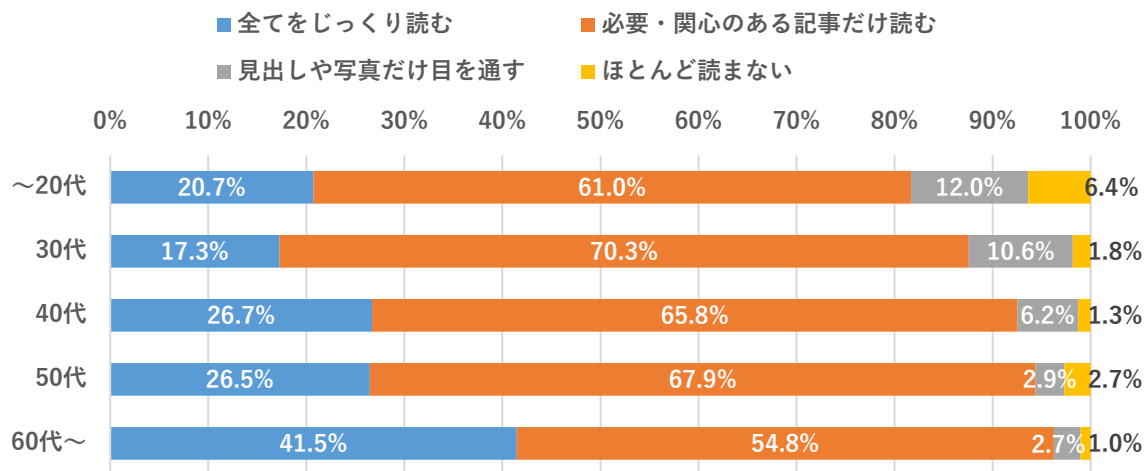
西条市を好きになる、またはもっと好きになるきっかけになっているか



「はい」と答えた方が昨年より1.2ポイント増加した。約8割の方が、広報紙からまちへの愛着を感じている結果となった。広報さいじょう発行のコンセプトにもあるように、1つの指標として、少しでもまち自体を好きになってくれるような紙面づくりを意識したい。

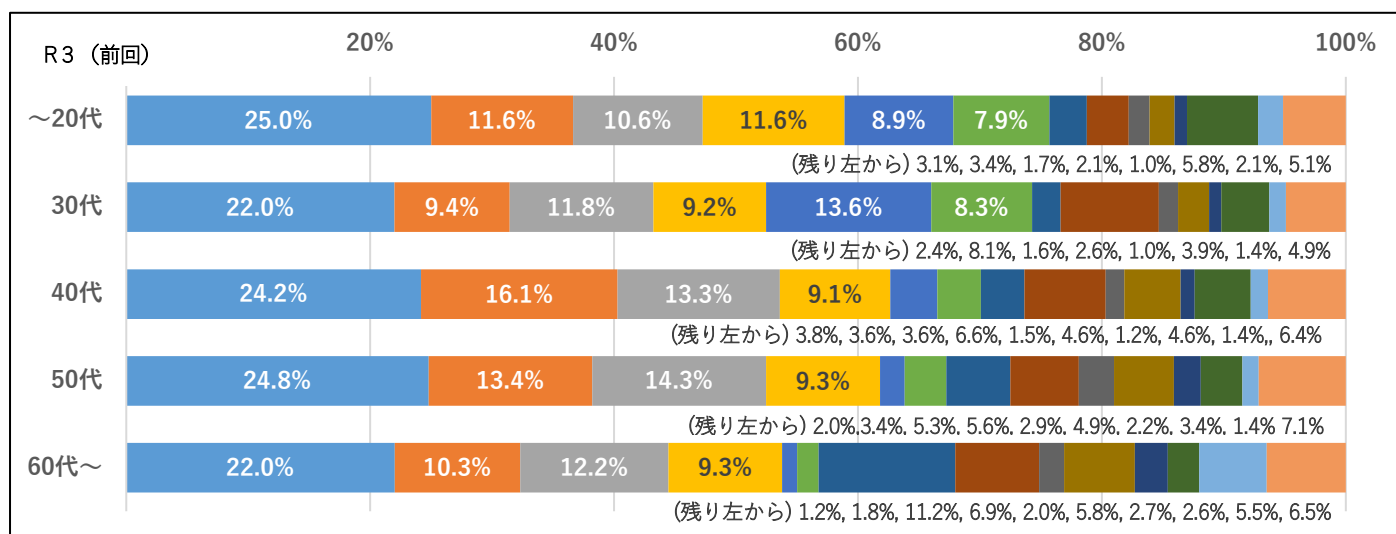
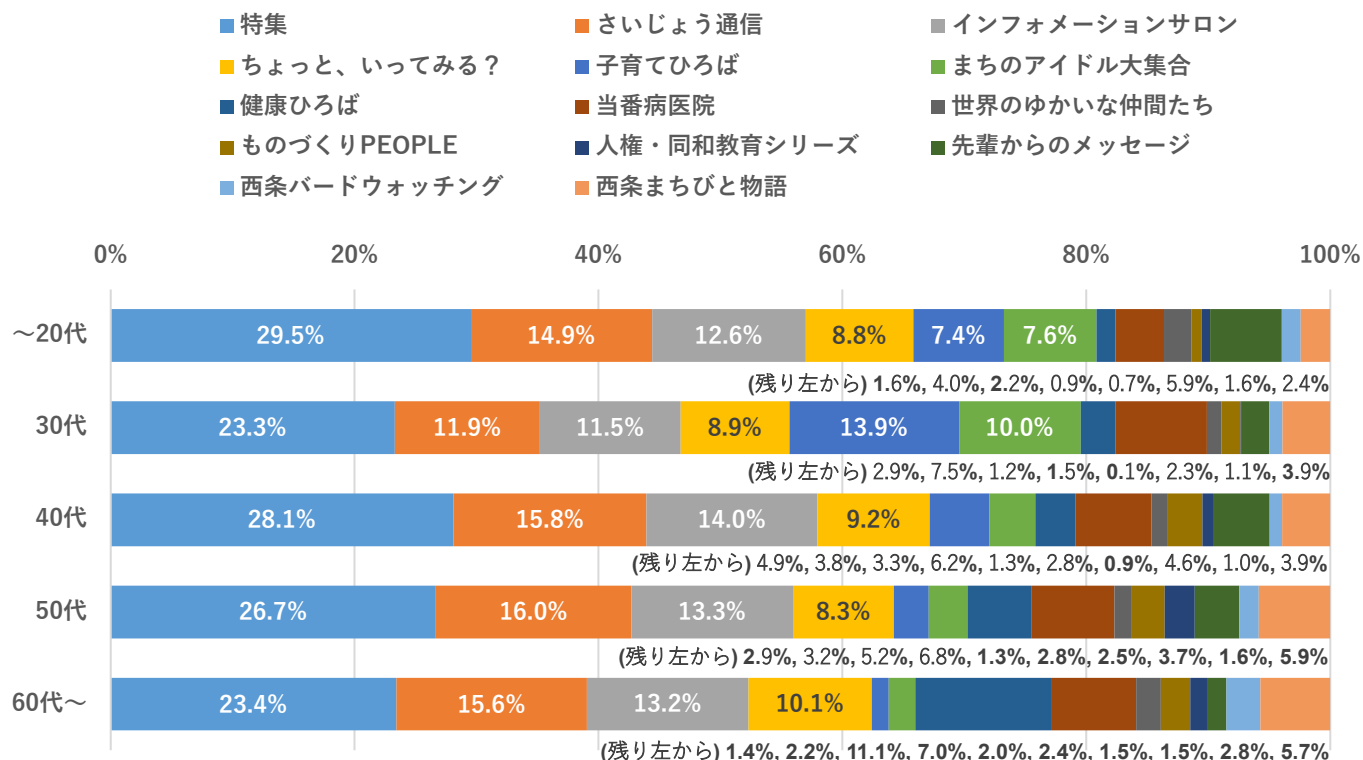
4. アンケート結果（年代別等）

どのように読んでいるか



すべての年代で、「必要・関心のある記事だけ読む」が減少し、「全てをじっくり読む」が増加。広報紙に興味を持って読んでくれる人が増えており、さらに増加させたい。

よく読む記事はどれか（3つまで選択）

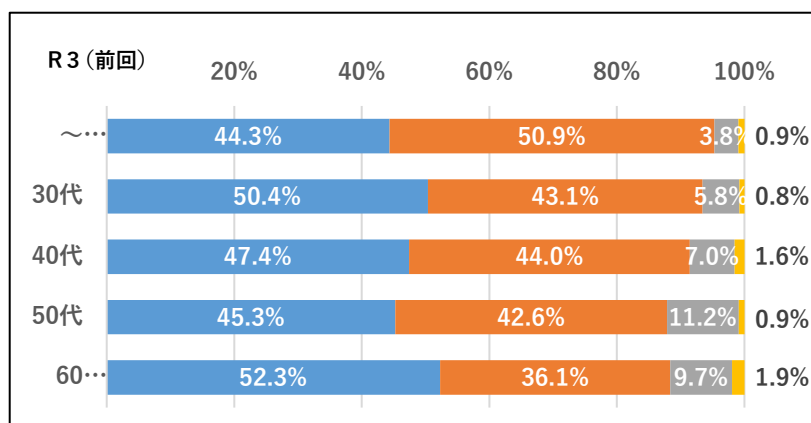
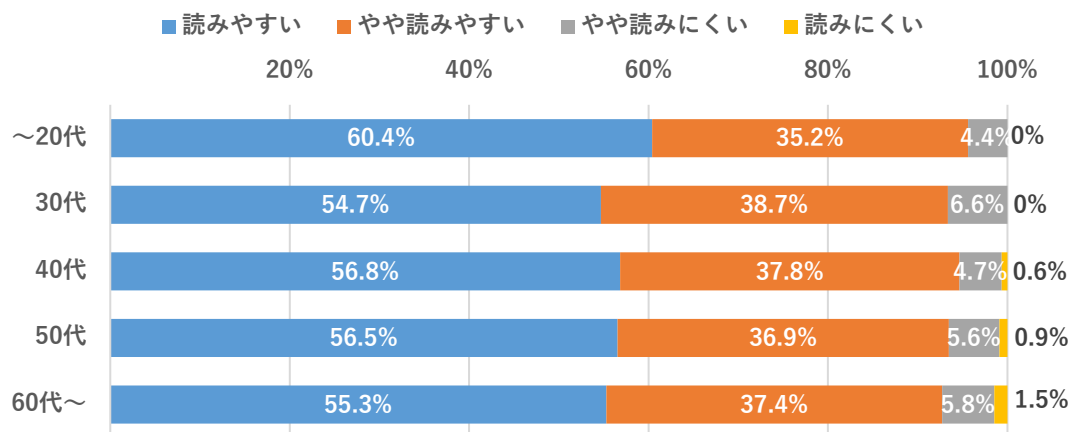


昨年と同じくどの年代でも、よく読む記事の上位は「特集」「さいじょう通信」「インフォメーションサロン」となっている。

「子育てひろば」は30代がよく読んでおり、需要が伺える。

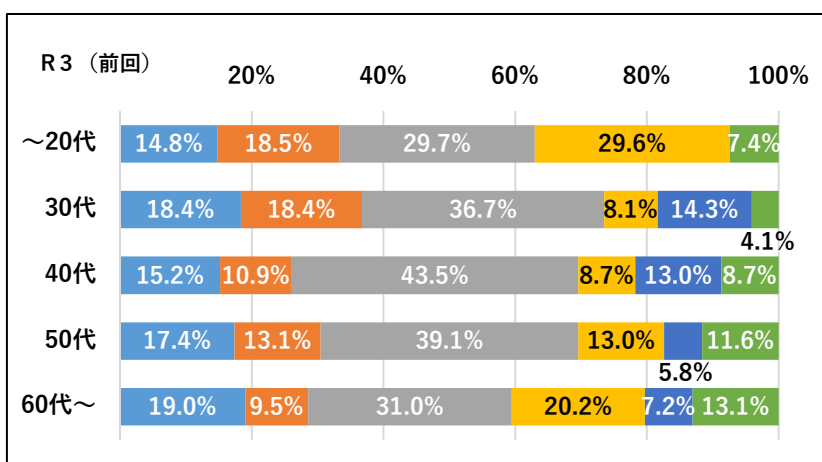
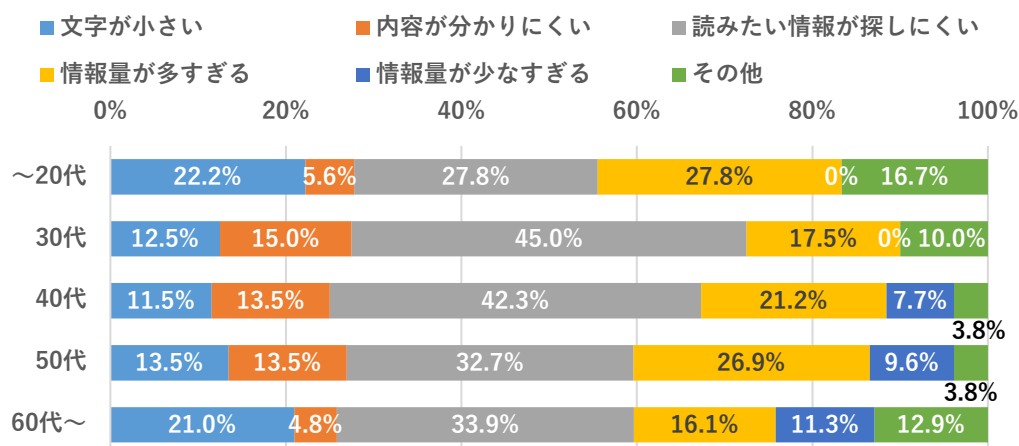
「健康ひろば」、「当番病医院」は年代が上がるごとに読む割合が増加しており、こちらも需要が伺える。

広報紙は読みやすいか



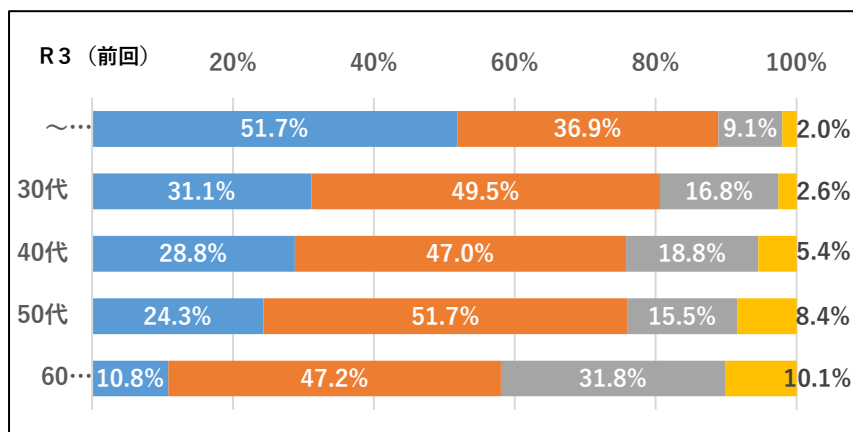
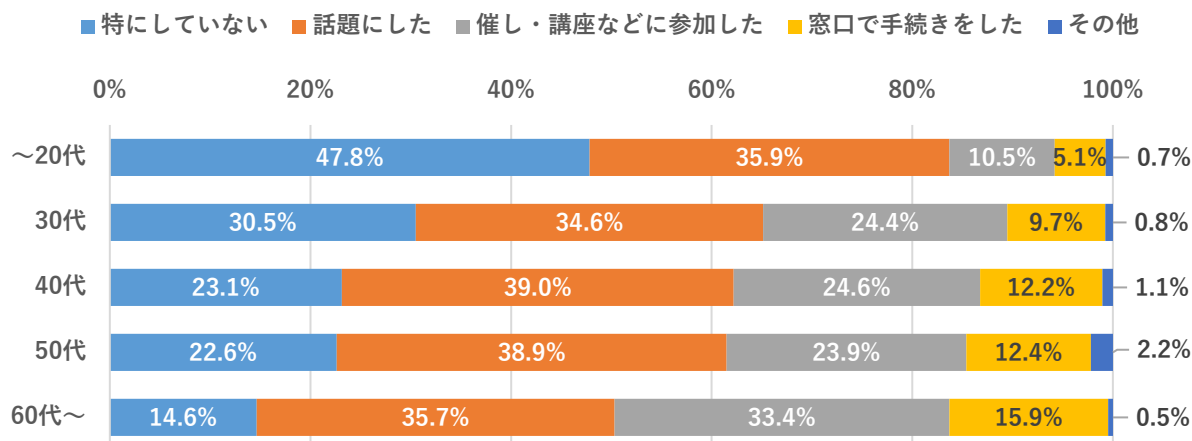
全年代で 9 割以上の方が「読みやすい」、「やや読みやすい」と回答。ほぼ全ての年代で「読みにくい」、「やや読みにくい」と答えた方が減少。特に年配の方の上記減少率が大きく、高齢者にも読みやすい広報紙が作れていると言えるか。

読みにくい理由（複数回答可）



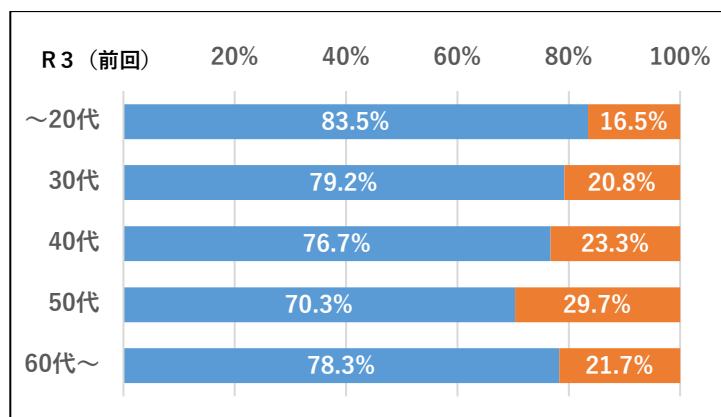
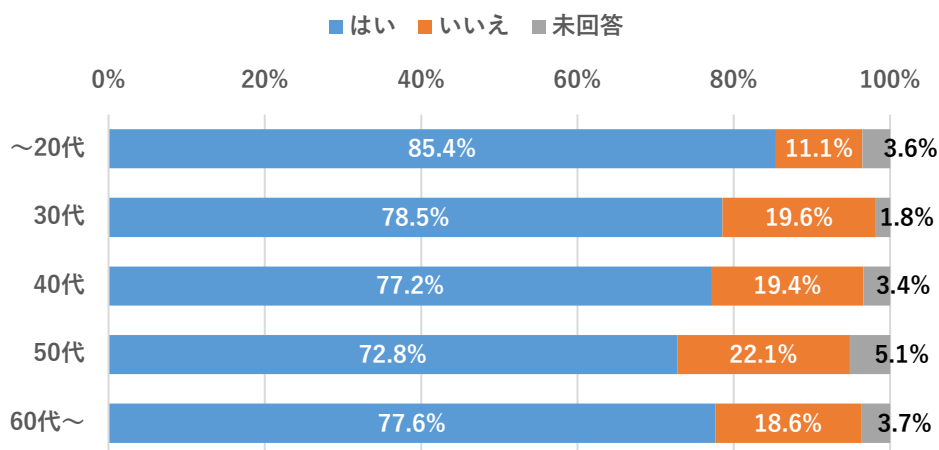
どの年代でも「読みたい情報が探しにくい」の割合が多い。また、30～50代で「情報量が多すぎる」が増加している。近年ページ数が増えており、記事の取捨選択が必要であると思われる。

広報紙を読んで行動を起こしたか



「特にしていない」という回答が全年代で減少。また「催し・講座などに参加した」、「窓口で手続きをした」割合が全年代で大幅に増加。広報紙の狙いである行動変容へとつながる紙面づくりは、今後も意識していきたい。

広報紙は西条市を好きになるきっかけか



●総合計画KPI

「西条市を好きになるきっかけになっている」の回答者のうち、40歳未満の割合を増加する。

【目標】 R6 : 80%

R3 : 81.1% → R4 : 81.5%

「はい」と答えた方の増減は年代でばらばら。全体では若干増加した。「紙面（デザイン）が美しく、西条市に住んでいることに誇りを持てる」といった意見や、「広報誌は情報収集の手段だから」といった意見が見られた。

肯定的な意見

- 広報紙のおかげで他の世代の人達や西条市内の別の場所に住んでいる人達が今どのような活動に励んでいる／励むことができるのか知れて、毎月楽しみにしています。(30代・女性)
- ほんのちょっとした事でもほめられるとうれしいものです。「夏の主役」のようにどんどん紹介して育ててほしい。(80代・男性)
- これまでいくつかの市町村に住みましたが、西条市の広報が一番見やすく情報量も多くてわかりやすいです。紙質も白で字も読みやすく開きやすいと思います。2年前から全戸にとどくようになったのも情報が行き渡るようになった様で良くなったと思いました。(40代・女性)
- 公務員試験の受験の際に、様々な自治体の広報誌を見ましたが、西条の広報誌は市民の方を大切にされていることが伝わります。また、デザインが雑誌のようで、広報誌にあまりなじみのない若い世代でも読みやすいのではと思います。(20代・女性)
- 出張と少し旅行の途中で偶然こちらの広報を手に入れました。地元で起きていること、取り組んでいることがよくわかりとても良かったです。西条はうちぬき水がまちのいたるところから溢れていて、そのためか人が元気な印象を受けました。来月お祭り頑張ってください。観光させていただく予定です。(30代・男性)
- 今まで知らなかったのですが、令和4年度全国広報コンクールの広報紙市部門で第一位に輝いたこと！本当にすごいと思いました。おめでとうございます。これからも職員さんの努力を応援したいと思います。ますます「LOVE SAIJO」！これからは全部読んだり目を通すよう頑張るように目標を！（70代・女性）
- 年寄りにやさしい。字の大きさもちょうどいい。活字の形も良い。今の時代当たり前かもしれませんが、写真がきれいです。(80代・男性)

否定的な意見

- 表紙がフリーペーパーの雰囲気の時が多いのが残念だと思います。人物より風景、植物などの方が落ちつくと思います。(70代・女性)
- 特集記事が大きすぎる。主役は彼らだけではない。関係者以外の者には興味が失せる。市民全体が万遍なく見れるように。弱い状況の人たちにも関心を。(70代・女性)
- 移住者ばかりではなく地元民にももっと目を向けて欲しい。(30代・女性)
- インフォメーションサロンのページは文字が小さい上に掲載量も多いため、流し見していると気になったり知リたかった情報を見落としがちになってしまう。(30代・男性)
- ページ数が多すぎて、必要な記事を探せなかったり、見落としたりする。カラー刷りで立派な広報誌だと思うが、1冊当たりのコストがかかりすぎではないか。周囲からも「どうせゴミになるのにもったいない」という意見をよく聞く。(40代・女性)
- 今は慣れたけど、さいじょうの表紙がアルファベットに変わって他の情報誌と同じ感じになって区別がつきにくい。(60代・女性)
- 広報誌の表紙が、個人の写真掲載が多いが、公共性を鑑みて、特定個人の表紙掲載は控えたほうが良いと思う。全国1位になったとか、全国的に有名人は別として、該当者と親族のみが喜ぶような表紙の作成は検討すべきだと思う。(60代・男性)
- 長年西条市に住んでいる人や、伝統文化に関する内容が少なく、広報紙が身近に感じられなくなった。(50代・男性)

掲載希望のテーマ

- 私は他県からの移住者です。PC,スマホを使ってないので、この Saijo が大切な情報源です。年に1, 2度で良いのですが、各公民館でどんなサークル活動が行われているか是非知りたいと思います。何回か TEL や直接お尋ねしたりしましたが、途中で断念の繰り返し。もっと人の輪を広げたいのです。よろしくお願い致します。(60代・女性)
- ゴミ問題や、まだ使えるものもったいないので昔丹原の有線放送であった、「ゆずります、ゆずってください」のコーナーが広報の紙面であればいいと思います。(40代・男性)
- もう少し子育てに特化した情報を載せて欲しいです。市役所などに行かないと情報が得られにくいので、もっと身近な情報があれば知りたいです。(30代・女性)
- 役所の仕事を詳しく教えてほしい。子供たちの働く場の一つとして。(50代・男性)
- 小学生、中学生の話題もたくさん載せて欲しいです。子供たちが、自分の市の事をもっと知る機会にもなると思います。子ども新聞があるみたいに、子ども広報誌があっても良いかなと思うので。(40代・女性)
- 市の広報としては難しいかも知れませんが、西条のカフェやショップなどの新店舗案内や西条市の物件案内とかが少し載ってたら嬉しいです。(30代・男性)
- 市民からのご意見箱、市からの回答などのせてほしいです。(30代・女性)
- 西条市内の史跡を巡り紹介して欲しい。行ってみたいなと思えるようなコーナーがあるといい。長い歴史があつての今の私達の生活に繋がることを思うと、昔の人々の生活が想像できるような話も知りたい。(60代・女性)
- 文芸欄の復活。市民が楽しめるよう。(70代・男性)

改善点・工夫など

- 旧東予、丹原、小松地区も西条市です。視野を広く向けて欲しい。(70代・男性)
- 子どもも関心をもつようなページがあれば、面白いのでは？小さな子も読むような広報を作れば老若男女、全ての市民が楽しめるようになり、さらに有名になるように思います。(30代・女性)
- QRコードに頼りすぎていて、欲しい情報がすぐ見られない(50代・回答しない)
- まちびと物語を、もっと増やして下さい(50代・女性)
- 年寄りには字が小さくて読みづらい。ページ数が増えても大きく読みやすくするとか工夫したげて欲しい。(40代・男性)
- 若者よりも年寄りの方がよく読んでいると思うので。移住や子供に関する内容が多い。子供のいない夫婦や独身でも興味がもてるような内容の記事も欲しい。(30代・女性)
- ワクワクするテーマをアンケートで募ってみるのも良いかも(70代・男性)
- 予算案のところと行政の内容がわかりづらいかなと思うことがあり、興味を持ってる人は多いと思うのでわかりやすくしてもらえると助かります。(30代・女性)
- 西条市についての消極的なニュースも、積極的に掲載してはどうか。「いいことづくめ」ではなく、西条市が直面している課題、移住者又は転入者の外部の視点に基づく西条市に対する批評なども開示してはどうか。こうしたことが、かえって市民に気付きを与え、西条市をよりよくするための行動変容につながる可能性があるのではないか。(50代・男性)